

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

八代市総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県八代市

3 地域再生計画の区域

熊本県八代市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和 30 年の 164,725 人をピークに減少し、昭和 50～55 年にかけて一度増加に転じたが、その後は継続的に減少し、平成 22 年には 132,266 人（昭和 55 年比 0.88）となっている。なお、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成 27 年に 127,472 人であった人口が、令和 42 年には 76,700 人となると見込まれている。

年齢 3 区分別人口構成の推移をみると、年少人口及び生産年齢人口の割合は年々減少しており、特に年少人口の割合は平成 27 年で 12.38%である。一方、老年人口の割合は 30 年間で約 3 倍に倍増し、平成 27 年で 31.71%となっている。また、平成 6 年頃には、老年人口が年少人口を上回り、少子化、高齢化の進展とともに、人口の減少に伴う生産年齢人口の減少が続いている。

本市の合計特殊出生率は 1.65 であり、全国に比して高い水準にあるものの、出生数自体は減少傾向にある。また、死亡数が出生数を上回る自然減の状態は年々拡大傾向にあり、平成 27 年には 609 人の自然減となっている。

社会動態について、転出者は平成 14 年をピークに減少傾向にあったが、平成 22 年以降再び増加傾向となり、特に、15～24 歳の若者世代が多くを占めている。一方で、転入者は農業の研修などを目的とした外国人の転入者が増加していることもあり、平成 27 年は社会減が 50 人と、転出入数が概ね均衡している。

高齢化を伴う人口減少は、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、

地域経済の規模を縮小させるだけでなく、社会生活サービスの低下による地域の居住魅力の低下を招き、さらなる人口減少を引き起こすといった悪循環に陥ることが懸念される。

これらの課題に対応するため、下記の基本目標を掲げ、出生数が増える環境づくりや社会減少を抑える取組みとあわせ、雇用の創出や安心して暮らし続けられる地域づくりを進め、人口減少に歯止めをかけていく。

- ・基本目標 1 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やっしろ”
- ・基本目標 2 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やっしろ”
- ・基本目標 3 誰もが希望をもって暮らせる“やっしろ”
- ・基本目標 4 “やっしろ”の発展を支えるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2020年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	従業者数	49,768人	48,544人	基本目標 1
	製造品出荷額	2,292億円	2,580億円	
	農業者総所得額	52億円	54億円	
イ	観光入込客数	238万人	260万人	基本目標 2
	観光消費額	119億円	130億円	
	社会増減数	▲1,199人	▲590人	
ウ	希望出生率	2.00	2.07	基本目標 3
	65歳以上人口に占める要 介護 3 以上の割合	7.21%	7.20%以下	
エ	住みやすいと評価する人 の割合	70.8%	75.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

八代市総合戦略推進計画

ア 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”創りを行う
事業

イ 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”創りを行う事業

ウ 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”創りを行う事業

エ “やつしろ”の発展を支えるまちづくりを行う事業

② 事業の内容

ア 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”創りを行う
事業

稼げる農林水産業の実現、フードバレーやつしろ基本戦略構想の推進、
成長産業化への多面的な支援の展開、「人材」の確保・育成・支援、基
幹産業の支援・強化、国際貿易港「八代港」の振興等、本市の地域性や
多様な地域資源・ふるさとの名物を活かし、時代に合った新しい産業の
創出や企業誘致を図るとともに、産業を支えるひと・もの・技術などへ
の多面的な支援を行うことにより、魅力ある産業と雇用を創出する事業。

イ 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”創りを行う事業

地域資源を活かした交流拡大の推進、世界に打ち出す観光業の展開、
スポーツツーリズムの推進、移住・定住の推進、中心市街地のにぎわい
創出等、歴史・文化・伝統が息づく多様な地域資源を活かした取組みや、
クルーズ客船をはじめとする海外からの観光客の受入環境を整備し、市
内への誘客を促進するとともに、移住希望者が「移り住みたい」と思う
まちづくり、若者世代が「住み続けたい」と思うまちづくりを展開する
ことにより、本市への新たなひとの流れを生み出す事業。

ウ 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”創りを行う事業

結婚・出産・子育てへの支援の展開、働きながら子育てしやすいまちづくり等、結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援の展開と、子育てに対するストレスを軽減するための多様な取り組みや学びの環境の充実を図ることにより子育て世帯に選ばれる事業のほか、健やかで安心な暮らしの確保、学び・教育の充実、女性の社会参画の支援等、学校と家庭と地域社会が連携して郷土を拓く人を育むまちづくりを行うとともに、子ども、女性、障がいのある方を含め、あらゆる人々が生涯を通じていきいきと社会で活躍し、誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”創りを行う事業。

エ “やつしろ”の発展を支えるまちづくりを行う事業

特色ある地域づくり、「生活基盤」の整備、災害に強いまちづくり、持続可能な公共交通体系の構築、地域間連携の推進、行政の効率化等、豊かな地域資源を活かし、地域の特性や状況に応じた特色ある地域づくりを推進するとともに、安心・安全・快適に暮らし続けることができる生活基盤の整備や災害に強い地域社会を形成するとともに、地域間の連携の取り組みを強化し、市民の暮らしや営みを支える事業

※ なお、詳細は八代市総合戦略のとおり。

※ なお、地域再生計画「海外クルーズ船寄港を活かした観光・物産プロジェクト」及び「八代圏域ツナガルインターンシッププロジェクト」の5-2の3並びに「八代市健康交流のまちづくりを目指したヘルスツーリズム事業」の5-2の③に位置付けられた事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

658,000千円（2020年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに八代市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2021 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2021 年 3 月 31 日まで